

2016年における子どもの権利の重大な侵害

責任を問われることなくシリアの紛争のすべての当事者によって、子どもの権利の重大な侵害が行われている。
このデータはユニセフが確認できた数値で、実際の数値はさらに大きいものと予想される。

子どもの徴用・徴兵



少なくとも
851人

の子どもが紛争で戦うために
徴用・徴兵された

2015年（331人）の
2倍
を超える

子どもの殺害



少なくとも
652人

の子どもが
殺害された

2015年に比べ
20%
増加した

子どものけが



647人

の子どもが
けがを負った

2015年に比べ
25%
増加した

子どもに対する性的暴力



社会や家族などからの非
難や拒絶の恐れが根底
にあるため、子どもに
に対する性的暴力は記録す
ることが極めて難しい。

女の子の中には、未成年
者を含む兵士たち
によってさらわれ、強制
的に結婚させられ、監禁
されている最中に性的暴
行を受けた者もいた。

教 育



87回

学校や教職員に
に対する攻撃が2016年
に行われた



255人

の子どもが
学校でまたはその近くで、
けがを負うか命を落とした



175万人

のシリア国内の子どもが
学校に通えていない



53万人

のシリア難民の子どもが
学校に通えていない

保 健



2016年で

338回

以上の
病院や医療從事者に対する
攻撃が行われた



半分

以上の公的保健施設が
閉鎖、または部分的にしか
開業していない

シリア国内
での
予防接種率
の悪化：

80% → 41%

紛争前

2015



身体的外傷が

30%

の不治の障がいの
原因である

戦いの武器としての水



2016年、シリアでは

30回

水供給が断たれた



820万人

が
水と衛生に関する
緊急支援を必要とした



シリアの人々の

2/3

以上は
定期的に水道水を
利用できない



シリア国内のいくつかの地域では、
公共の水道設備の供給量が紛争前の

20%

まで減少している



平均して各家庭は
収入の

1/4

を水の購入に
使わざるを得なくなっている

栄養

シリア国内



支援が届きづらい地域や
包囲された地域の
子どもの

1/4

が発育阻害を起こしている



シリア全土で

700万人

の人々が
食糧不足に陥っている



240万人

の人々が
食糧不足に直面する
恐れがある



ヨルダン

で暮らす

40%

の5歳未満のシリア難民が
貧血症である



4人に1人

の子ども、
また出産適齢期にある4人に1人の女性が
貧血症である



10%

近くの
出産適齢期の女性が
急性栄養不良に陥っている



レバノン

で暮らすシリア難民の子どもの

1/4

が貧血症である

児童労働

85%

のシリア人は
貧困ラインを
下回る生活を送る

親は借金を抱え、
失業し、金融資産は使い
果たされている

子どもたちは
稼ぎ手にならざる
を得ない

更には、結婚以外の選択肢
がなく、子どもであるにも
かかわらず妻や母にならざ
るを得ない者も



シリア国内で、

75%

以上の家庭の子どもは働いてお
り、半分以上が共同のもしくは
唯一の稼ぎ手である

このような仕事を子どもたちはしている



清掃



店・レストランの
仕事



ゴミ収集



建設現場
の仕事



機械整備



大工仕事



ホテル業



工業



プラスチックの
リサイクル



衣料工場での
仕事



製靴業



露店の仕事



物乞い



農業



路上での仕事



工場の仕事



理髪業



鋼鐵工場での仕事